



久企第806号  
平成26年9月26日

学校法人東京理科大学  
理事長 中根 滋 様

久喜市長 田 中 暄



## 回 答 書

秋冷の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成26年7月16日付けで、貴職より提案のありました久喜キャンパスの用途変更の件につきまして回答申し上げます。

本市は、平成23年7月に貴大学から久喜キャンパスの全面撤退の申し入れがあつて以来、お互いの信頼関係のもと協議を行い、平成24年6月13日の東京理科大学理事会において決定された平成28年4月より2年生以上を神楽坂キャンパスへ移転し1年生のみを久喜キャンパスに残すということを断腸の思いで受け入れました。

当時、久喜市議会においては将来的に全面撤退するのではないかという懐疑的な見方が示されたことから、幾度となく貴大学に確認しつつ、理事会という最高機関の決定であることを説明し、市民並びに市議会に理解を求めてきたところです。

そして、本市は平成24年6月13日の理事会における決定を、貴大学の輝かしい歴史と威信にかけて、真摯に履行されることを信じておりました。

そうした中、突然に平成26年7月9日の東京理科大学理事会において久喜キャンパスからの全面撤退が決定されたことは、長年培ってきた本市と貴大学との信頼関係を著しく損なう行為であり、誠に遺憾であります。

本市といたしましては、平成24年6月13日の理事会決定を履行していただくことを改めて要望するとともに、現時点においては仮に経営学部が全面撤退したとしても、貴大学の研究施設としての活用や他大学等の教育機関への譲渡など、引き続き教育の用に供していただきたいと考えております。